

5) H29の広報活動について (1)

【パネル展の開催】

- ・平成29年度版として新たに広報用パネルを作成
- ・管内の自治体・道の駅等とも連携し、年間計画を策定
- ・開通式などの式典時に道路整備のストック効果等と合わせて展示。
- ・庁舎ロビーなど常設が可能な箇所については、年間を通して展示。
- ・既に東温市、西条市、新居浜市、上島町、松前町、今治市の道の駅等で展示済み。

今後予定箇所を含め愛媛県内で約50箇所で開催予定。

○平成29年度の広報計画 (愛媛県)

| 事務所名 | 展示時期 | 実施場所 | 備考 |
|-----------|-------------------|-------------------------------|------------|
| 松山河川国道事務所 | H29.4.3~H30.3.30 | 事務所、各出張所のエントランス口 | 通年 |
| 松山河川国道事務所 | H29.5月中旬~H30.3月下旬 | 県庁、市町村庁舎のロビー等と管内道の駅の情報提供コーナー等 | 各箇所1~4週間程度 |
| 大洲河川国道事務所 | H29.4.3~H30.3.30 | 事務所、各出張所のエントランス口 | 通年 |
| 大洲河川国道事務所 | H29.5月中旬~H30.3月下旬 | 市町村庁舎のロビー等と管内道の駅の情報提供コーナー等 | 各箇所2~4週間程度 |

■ 国道の老朽化対策の実態 (点検)

近接目視による点検により普段では見えない箇所の損傷を発見

橋梁は様々な部位・部材で構成されており、普段通る橋面上からは見えないところにも、橋を支える重要な部位・部材があります。5年に1度の近接目視による点検では、橋の下面まで入り、触診や打音検査を行い、損傷度合いについて診断を行います。

愛媛県道路メンテナンス会議

■ 道路の老朽化を防ぐ取組み (維持管理)

点検で発見した損傷は構造物として致命傷にならないうちに補修

点検で確認した損傷箇所は、構造物として致命的な損傷に繋がらないうちに健全度の回復を図っています。また、架設当時より交通量が増大し、当初の設計条件の見直しが必要になった場合は、損傷箇所の補修と合わせて補強を行う場合もあります。

愛媛県道路メンテナンス会議

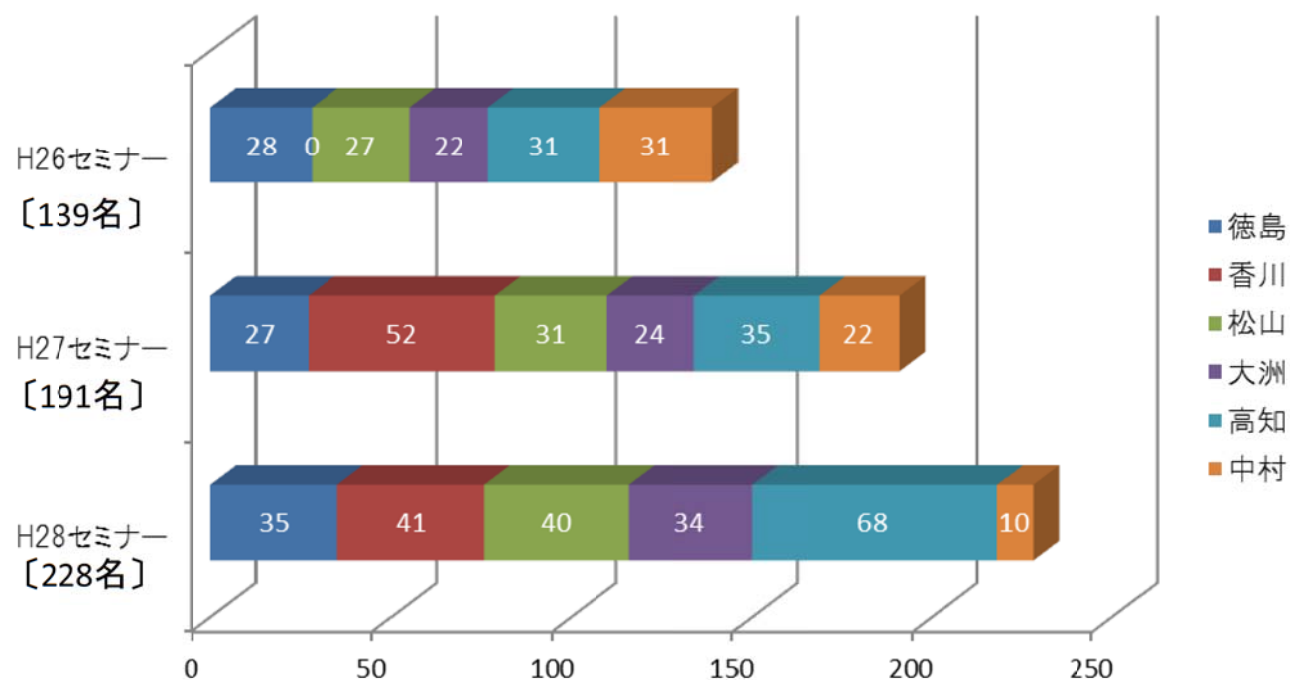
展示用パネル (一例)

5) H29の広報活動について (2)

【セミナーの概要】

- ・ セミナーは座学と現場実習の2部構成（講師は直轄職員が担当）
- ・ 座学では橋梁等点検要領の説明のほか、各自治体での取組事例や点検結果の報告を行い、参加者との意見交換を実施
- ・ 参加者自らが参加することでスキルアップを図る。

□各地区におけるセミナーの地公体職員受講者の累計



〔参加者の声〕

- ・ コンサルタント等の点検・診断結果を確認しチェックできるようになりました
- ・ 点検・診断の実施内容が理解でき、今までの技術力からレベルアップしました 等